

88

特254

20

在ベルリン 宮本守雄記

ドイツ青少年運動

その組織とその実際

青少年鍛錬指導本部



2

0052987-000

特254-20

ドイツ青少年運動

宮本守雄・〔著〕

朝日新聞社

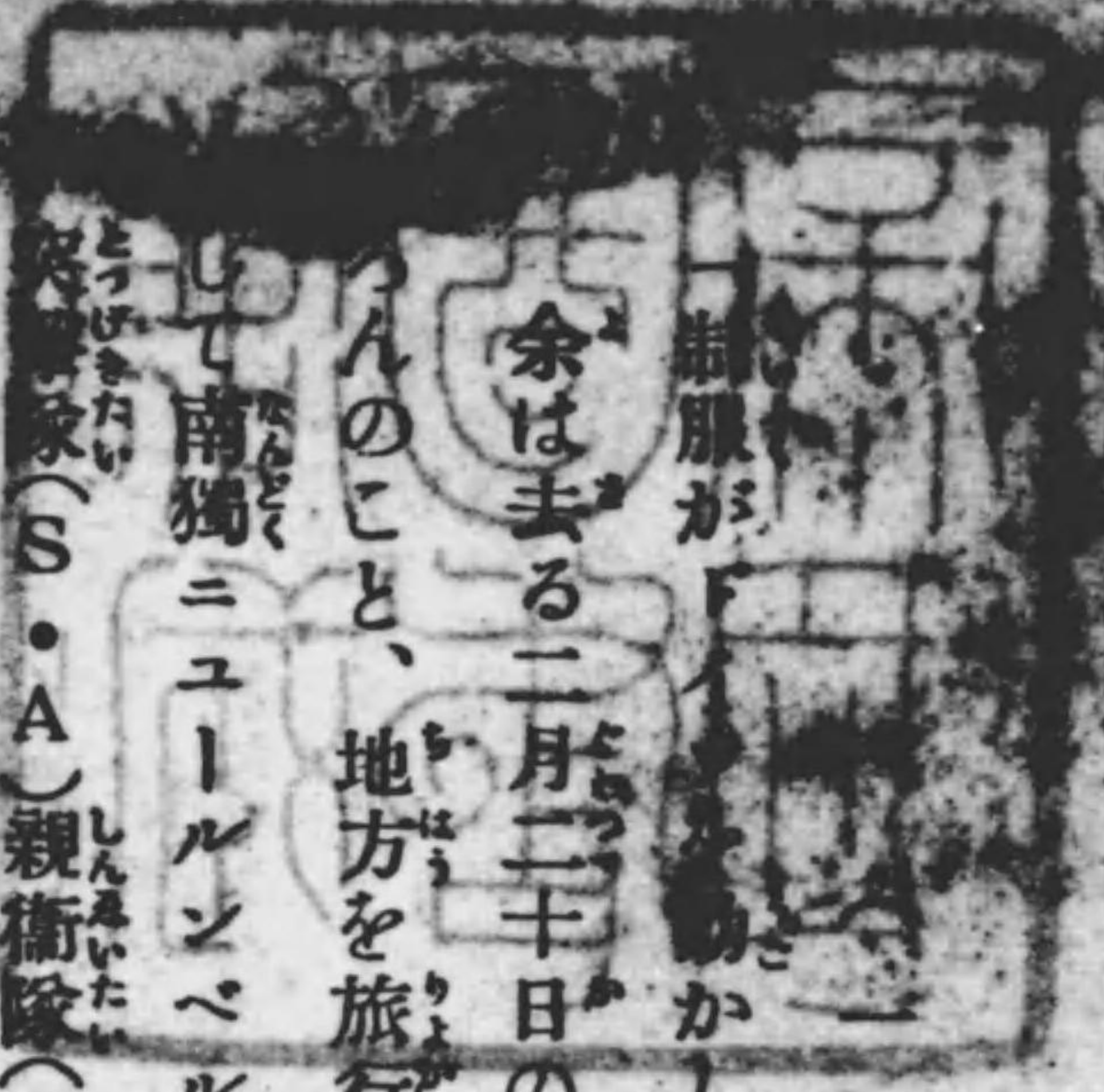
昭和13

AHP

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法第67条の規定に基づき、平成12年3月25日付けで文化庁長官の裁定を受け使用するものである。

本社は生氣潑刺たる青少年の練成が國家興隆の源泉たり、殊に非常時局下青少年の鍛錬は一日も忽にすべからざる重大事たるを思ひ、紀元二千六百年記念事業として聖地畝傍に青年道場の建設を企圖し、また樺原神宮御聖域擴張工事に奉仕する奈良縣建國奉仕隊に積極的協力して青少年の勤勞奉仕を勸奨し、さらに今回生駒山上に指導者鍛錬道場を開設するなど青少年運動の組織化と指導とについて不斷の努力を拂つてゐる。しかして青少年運動として最も大規模かつ規律あるものとして世界各國から非常な注目を集めてゐるのはドイツ青少年隊であり、同青少年隊の組織並びに活動の全貌を紹介することはわが國青少年運動に裨益すること少くないので本社は特に目下ドイツにあつて右運動を熱心に研究しつゝある宮本守雄氏に乞ひドイツ青少年隊につき以下に詳細なる紹介論文を得た。わが訪獨青少年團は目下ドイツにあつて各方面の歡待をうけ、訪獨青少年隊また來朝の途にある今日、青少年隊に關する貴重なる參考文獻たるものと一般にも特に興味深きものがあらうと信ずる。

制服が象徴する「組織」と「結束」



制服が象徴する「組織」と「結束」

余は去る二月二十日のドイツ國會を見學してこの言葉を得た。ベルリン市内はもちろんのこと、地方を旅行し工場を見學しても同じことが感ぜられる。また年中行事として南獨ニールンベルグにおいて開催せられる黨の大會に軍隊は勿論、十萬づつ、の親衛隊(S・A)親衛隊(S・S)二十萬の勞働奉仕隊、それに十萬の青少年隊が各揃ひの制服に身も心も固めて行進するのを見ると、實にドイツは前進してゐる。制服に身をかためたドイツが突き進んでゐる」と切に感じる。特に勞働奉仕隊、青年隊の如き軍隊勤務直前の青年達の潑刺たる様子を觀ると列國のドイツ恐怖病にかゝるもの



時節柄無理からぬことと領られる。「制服をつけることに依つて青年に軍隊的な意識を促し、舉動を規律正しくさせ、己を忘れ衆に従ひ全體に向つて働くことに慣れしめる」といふ言葉を認めねばならぬ。

全體主義の思想の下にあつて凡ゆる部面に組織と結束の力を發揮しつゝあるのが現在のドイツの姿である。そしてその組織を現し心の結束を象徴してゐるものがこの制服である。

そも／＼一定の制服を着けて國家の第一線に働いてゐる團體は前記の突撃隊、親衛隊といふナチス黨發生の當初からヒットラー氏を助け今日のごとき隆昌を築き上げたのをはじめとして最も目に立つものを擧げて、戦時動力化の中心をなすナチス機働隊(N.S.K.K)政治指導隊、さらに男女労働奉仕隊、男女青少年隊と數へられる別して後の二者は被教育團體にして將來の國家を背負つて行くべき者の集りである。教育如何は吾人の最も興味をひくところである。

(二)

獨逸青少年隊は本年三月十二日の埃國合併によつて遂に一千萬人を突破するにいたつた。或はいふであらうわが日本にも各種青少年團體を合計すると八百萬を超えてゐると、一人の指導者の下に整然たる統制を組織、教育體系を持つて結束したこの團體は何時でも國家のためには生命を投げ出す意氣に燃えた若者で満たされてゐるのである。しかも一人の若い指導者バルドウル・フォン・シラツハの指圖によつて一言半句の反問もなく即刻に行動し得るやう整備せられ、更に今なほナチス獨自の世界觀について人類のため民族のためにと教育が續けられてゐるのである。

近年世界各國が青少年に對する社會教育を頓に注視し各懸命の努力を拂つてゐる状態であるが、余は未だドイツほど數においても質においても勝れた團體を見ない。今日の成果を齎し得た原因を顧みると、ヒットラー總統の「國民革命の完成は少國民から」との信念の下に努力を惜まなかつたことによるが、特に良き指導者を得たことと

組織運用の妙を見落してはならない。

(三)

國家並に黨の青少年指導長官シラツハは一九〇七年生れ、今年漸く三十一歳になつたばかりの青年である。その代理者であり同時に全國青少年指導本部中央指導官たるハルトマン・ラウターバツヒャーは二十四歳でその要職につき本年廿八歳といふ若さである。これはヒットラー總統の信條たる「青年の指導は青年の手によつて」を實現したものである。従つて各部署を擔當する指導者も全部若い者揃ひである。中には十七歳で十四歳から十八歳までの青年を三百人も指導してゐる者がある。すなはち常に團員の中から指導者素質のある者を發見してこれを伸ばし益々良き指導者として育てあげ將來國民の指導者としての任務をも果す人物たらしめんとするのである。試みにその指導者養成機關を説明すると

現存する國立青少年指導者養成學校は男三校、女三校ほかに海洋部指導者養成のた

めに二校あり、各校一コース八〇名から一二〇名を收容して、三週間乃至四週間宛教育をしてゐる。その他に各地方區(師團に相當)設立の指導者學校數三十一校、更に小地區の聯隊に相當するものが設立してゐるものもある。

全國から俊秀選抜指導者を養成

本年五月二十四日からワイマールにおいて開催せられた高級指導者會議の席上シラツハ總監の發表したところによると「高級指導者養成機關として指導者大學を建築中のところブラウンシュヴァイヒの校舍が九月に落成するのでこゝで全國から選拔せられた最も優秀なる指導者を一ケ年間教育し、その終了後三週間の工場實修更に六ヶ月間の外國視察旅行を行はしめることとする」とある。なほミュンヘンにも一校設立の豫定であり、一校百名定員で他の指導者學校とともに學費舍費は一切不要であるの

みならず若干の小遣をも支給して貧富にかゝはらず能力にのみよつて登龍の機会を與へるのである。

なほこの大學は大隊長級を入学せしめて將來の聯隊長、師團長に相當する地位に就くべき者の養成機關である。次に最も數も多く實際指導の中樞をなす中隊長、大隊長格の指導者養成機關たる地方區設立の學校を説明する。

本年五月現在では舊オーストリアを含めて卅一校あり、通常一コース六〇名乃至一二〇名を收容し三週間教育をする。卒業後の實際指導によつて大隊長級まで進ましめることを目標にし、その上の高級指導者は指導者大學の擔當するところであるのは前述の通りである。學校の職員は校長、スポーツ指導者並に野外訓練主任の三名は有給指導者にして常に生徒と宿舍に寢食をともにして一切の生活指導をも行ふ。別に名譽指導者として無給の職員を依頼して援助せしめる規定である。

教授内容は廣義政治教育、體育ならびに訓練科目の實技修練、および青少年訓練法

の實習と分けることが出来る。特に指導者は現代ドイツ思想を理解し信奉すると同時に、その世界觀に立つて外國をも知らねばならぬとしてこのために多くの時間數を割り當てゝゐる。また指導者は單に知識の量のみでは決して青年を率ゐることは不可能でスポーツ、技術、體力においても勝つてゐることが必須條件であるとして、體操、スポーツならびに山野を馳せ廻り斥候的知識、技能、困苦缺乏に耐へる體力と不屈の精神を訓練することを重要視してゐる。男子の指導者學校においては三〇時間を政治教育、三〇時間を體操、スポーツ、野外教練に、一〇—一二時間を射撃に、一〇—一五時間を指導法の實習にあてその他に特殊教育として觀劇地方區すなはち師團本部參觀、讀書が當てられてゐる。歌を習ひ、またその指揮法を實習し、劇その他の行事は指導法實修の時間にも行ふが多くは夜の團樂を利用して行ふのである。

なほわれ／＼外國人が指導者學校を訪問するとその機會を利用して理解させる手段とするとともに後にまた日本並に日獨關係を主題として講義、討論を行つたり、また

新聞記事を材料とするなど常に生きてきた事柄を機縁にして世界観教育、政治教育を行ふのである。それで校長は常に諸外國のことについても正確な認識を持つてゐなければならぬ。ために毎年三週間休暇を與へて國外旅行を行はしめ、識見を高めることに努力してゐる。

この種ヒットラー・ユーゲントの指導者を養成する以外に將來の爲政者の積極的養成を企てた機關がある。アドルフ・ヒットラー學校と稱し一昨年四月南獨クレツシンゼーに開設せられたのを初めとし、本年はまた全國に一〇校増設すべく去る一月十五日その定礎式が舉行せられた。

これは義務教育を四年だけ終了した十二歳の者の中から最も優秀な者を各地方の知事に推薦させ、その中からシラツハとドクター・ライが入學を決定することになつてゐる。一校三〇〇名定員で全員寄宿舎に收容し經費一切ナチス黨から支出して八ヶ年間教育するのである。午前中には他の八年制の高等中學校と同様に教科の學習を行ふ

が始業前と放課後には一切ヒットラー・ユーゲント式の訓練を施す。この學校を卒業して大學に進む者、各種職業につく者各素質によつてその後七ヶ年間實際の生活を經驗する。もちろんその間に労働奉仕および兵役の義務を果すわけであるが七年後における特別考査によつて一千名を選び大體二十五歳でオルデンスゴルクすなはち爲政者修道場に入學せしめて爲政者としての修行をするのである。品性、才能はもちろん特に身體が完全で剛健な體力を持つたもので妻帯者たることが入學の條件になつてゐるのも變つてゐる。かくして選拔せられた者はいづれも國境近くにある四つの道場を順次に廻つて辯論を研き行政學を修めて行政官として社會に出るのである。

前記アドルフ・ヒットラー學校はドイツ青少年指導長官たるバルドウル・フォン・シラツハに屬し、爲政者修道場はナチス中央組織部長兼労働戦線總指揮者たるライ博士の指導下にある。

青年宿泊所こそ訓育の道場

さてドイツ青少年隊の實際訓練であるが、これは前述の指導者養成學校における教科内容によつて想像し得る如く新ドイツ主義となつたナチス黨の精神を理解させ全體主義に醒めて眞に「公益は私益に先立つ」といふ考へ方を實踐せしめんとする。また政治教育として世界の現状を知りドイツ民族の進むべき道を理解しそれに協力せしむること、その他民族の歴史とその優秀性が強調されてゐて新しい自覺に立つて民族の發展に寄與せんとするの熱情を抱かせんとするものである。もちろん音楽、劇を始め文化的な教養を考慮し殊に女子には近年「女らしい情操」を與へることに積極的な努力が拂はれてゐることは事實である。しかしそれらのこともすべて民族意識の昂揚を第一目的として行はれるかもししくは民族的立場から必要なる文化を進めんとする態度に出

てゐるものである。

次に男女ともに體位の向上に拂はれてゐる努力は非常なものである。近年ドイツ青少年の體格が良くなり頑健、強靱なことは羨しい限りである。毎年一回必ず行はれるニールンベルグの黨大會中のヒットラー・ユーゲント全國競技大會をはじめ各地方區の大會、冬季ガルミツシュエでのスキー、スケート、橇などのウィンター・スポーツの大會など幾多の競技會を開催してお互に技を競ふ。その他獨特の十數競技を定めてその一定標準の記録に達した者にはスポーツ章を授與して、この徽章を制服に佩用せしめるとかまた昇進の材料とするなど獎勵に努めてゐる。

特に男子の訓練中に射撃の重視せられてゐることは特筆しなければならぬ。射撃はもちろん十種競技中の主要項目になつてゐて従来とも青年部には正課として行はれ年少部にも希望者には授けてゐたのであるが、本年二月以來十歳乃至十四歳の少年達にも正課としてこれを練習せしむることに改正せられた。ためにドイツ射撃協會の協

力を求め指導者ならびに射撃場の提供を受けることとなり目下射撃場増設に大童である。右の如き訓練は通常水曜日の夜政治教育ならびに音楽その他の情操教育を主とした「塾の夕」と土曜日の午後「スポーツの午後」と稱する體育を中心とした集會を毎週定時に實施してゐる。

その他に月一回半日の遠足、および同じく一回づつ土、日の二日にわたる一泊旅行を行ひ綜合訓練の機會としてゐる。この一泊旅行のためには全ドイツ國到るところに青年宿泊所があつて自由に使用することが出来ることになつてゐる。その他一年に三週間の野營生活も青年部には一つの規定された行事である。

この百萬の青少年に自由な宿泊所を提供することはすこぶる大きな仕事である。從來とも青年宿泊所聯盟なるものがあつて相當な数の宿泊所を持ち渡鳥の群を始め遍歴者達に利用させてゐたのであるが、一九三三年以來ヒットラー・ユーゲントにこの聯盟が合同されて以來急速に新築ならびに舊い城などの建物を改築して本年六月に

は約二千ヶ所を算するにいたつた。以下ドイツ青少年の教育道場として重要な役割を果してゐる青年宿泊所について述べることにする。

現在この青年宿泊所聯盟長はヒットラー・ユーゲント遠足旅行局長の兼任すべきものとなつてゐるが、聯盟そのもの歴史はすでに三十年に達してゐて初期には個人の別荘とか古城を青年の一夜の宿として提供されたものであつたが一九三三年に合同されてから、一九三七年までの五ヶ年間に廿五、六ヶ所の新設を加へた。特に三十七年度において六十二ヶ所、三十八年度は更に擴張して百四十七ヶ所新設の豫定を二月發表されたのである。ところがオーストリア合併に伴ひ更に豫定を變更して六月十日に新に五百七十八棟の定礎式が舉行せられ、今年一杯で百四十ヶ所完成の豫定であると發表された。

この資金を得るために去る五月十四、五の兩日の國家事業として「青少年宿泊所資金寄附募集日」と指定し、ヒットラー、ゲーリング、ゲッベルス、ヘッス、シラツハ

らが演説に、放送に大童となり、また各映書館でも宣傳文並に宿泊所に關する寫眞を上映して一般に寄附を訴へた。同時に男女青少年隊員が徽章を賣つて廻つた。その徽章は一個二十ペニツヒで總數二百萬個に及んだとのことである。黨の幹部の内一人で十萬マルク寄附をした者もあつたと報告されてゐるから相當な額に達した筈である。また舊オーストリア領に新設のために今後も黨の幹部達の寄附を募り、青少年達も募集して廻ることゝなつてゐるが、さらに六月以降毎月、月の初めに兒童、生徒、學生、總てドイツ國の學校に席を置く者は各人一ペニツヒづつ献金すべきことになつたかくして全國民が協力してこの事業の完成を急いでゐるのである。

さて青年宿泊所の使用はヒットラー・ユーゲント隊員に限り一ケ年五十ペニツヒ納入して許可證を手に入れることが出來、何時何處の宿泊所にも泊り得るのである。隊員以外の者は年二マルクを納入して會員になることが出来る。但し廿歳より廿五歳までと限られてゐる。使用料は一泊夏は二〇ペニツヒであるが冬は暖房の費用を含めて

三〇ペニツヒである。なほ一マルク一〇ペニツヒ出せば食事付で一晝夜滞在することが出来る。

全國到るところにあり、しかも廉價で利用出来るからこれを使用する者の數は夥しい數に上つてゐる。今延人員の概數をあげると、一九三二年四二七萬、一九三三年四六三萬、一九三四年五八八萬、一九三五年六五三萬、一九三六年七四九萬で昨年一九三七年には遂に八百萬人を超えたとのことである。

去る二月の國會におけるヒットラー總統の演説によると、昭和十二年度にドイツの青年がこの青年宿泊所に宿泊した延人員は、他の全世界の青少年が各國のこの種宿泊所を利用した者の總數の八倍に當ると自賛したが統計を信ずると否にかゝはらず羨ましい状態である。

なほこゝに注意すべきは外國人にしてこの青年宿泊所を利用する者の増加して來てゐることである。序にその數を示すと延人員一九三五年十萬人、一九三六年十九萬人

一九三七年には二十萬を突破したのである。更に一九三六年度の外國人の内譯を見るに延人員イギリス人五萬、デンマーク人三萬、チェッコ人二萬、オランダ人一萬、北米人一萬となつてゐる。

なほ毎週一度は必ず行はれてゐる「塾の夕」または「團樂の日」と稱する室内集會のためにもまた機を飛ばして古い建物の提供を求めこれを改造し、また新築を不斷に行つてゐるのであるが、今年度には千四百ヶ所新築の計畫と聞く。同時に舊埃東部國境方面の小さな村にはこの種集會所を得ることが最も困難との理由で六月十二日百五十棟の定礎式が舉行せられた。

祖 國 愛 の 糧

ランゲマルク基地、指導總監は大臣待遇

隊員一千萬人が絶えず活潑に働くためには編制並に組織について工夫を要する。今

その點に關して一瞥したところを記さう。但し各部隊名は國策に副つて多く古語を用ひ邦語に直譯すると殆ど同じ意味になつたり、内容の聯想が困難で却つて明瞭を缺くから日本に從來ある言葉に當てはめて説明する。

普通に獨逸青少年隊と稱してゐるものは實は青年男女、少年男女の四つの隊を總括して稱するものであつて細別すると次の如くなる。すなはち十歳—十四歳の男子少年部通稱 J・V。十四歳—十八歳の男子青年部通稱 H・J (狹義のヒットラー・ユ—ゲント) および十歳—十四歳の女子少年部通稱 J・M。十四歳—二十一歳の女子青年部通稱 B・D・M の四つの部門があつて各々性と年齢によつて獨立の部隊と指導系統を持つてゐるのである。

各部門は一二名—一五名をもつて一班を組織し、三班—四班をもつて一小隊(約四名—五名) 四小隊をもつて一中隊(一六〇名—二〇〇名)、三一五中隊をもつて一大隊(六〇〇名—八〇〇名)、四—六大隊をもつて一聯隊(三〇〇〇名—六〇〇〇

名)を編制する。そして青年部聯隊と少年部聯隊が師團すなはち地方區と稱する組織に統轄される。

女子の部においてもこれと同じ編制であるが、その原名は各部隊とも異にしてゐて隊名を一見していづれの部門に屬し、隊員何名を持つものであるかを明瞭なやうにしてゐる。

右の如く男子部も女子部も同様であるから今男子青年部の現状を紹介するに止めて他は推察願ふことにする。

從來全國を二十六區すなはち師團に分ち、聯隊の數は四〇〇であつた。ところが三月の政變によつて奧ストリヤの合併が成りその結果五月廿六日付で左記の如く編制せられた。すなはち舊オーストリア領を南東大地方聯合區と名付けドイツ青少年指導者シラツハ總監の統率下に入り、從來のヒットラー・ユーゲント教育法により訓練を受けることとする。この南東大聯合區を七地方區すなはち師團、七五聯隊に分つ。そしてウ

イーン市をもつて獨立の一區とし七師團の中心とする。

そこで從來ベルリン、ハンブルグが一都市で特別區として一師團をなしてゐたのが今回ウイーンを加へて特別區が三つとなり總計三三師團、四七五聯隊が出来た次第である。

地方の状況により多少の相違はあるが青年部一聯隊は普通の青年隊四大隊(計三〇〇〇名一六〇〇〇名)と他に特殊教育を施す部隊として次の如きものが附屬してゐる。

海洋隊、航空隊、機働隊、並に音楽隊、その他に特別勤務を持ちそれのための特殊教育を受けるものに、記録班、遊撃班、黨との聯絡班、看護班、工兵班、騎馬班、防空班などである、なほ盲人、聾その他の不具者の特別班を設けてゐるところもある。以上が極く大體の編制である。

この大部隊をしてお互に聯絡を保ち圓滑に運用するための本部の組織を覗いて見る

こととする。獨逸青少年はヒットラー總統直屬の教育機關であつて、他の國のごとく文部省もしくは他の省の管轄に屬しない。従つてその指導總監は大臣の待遇を受け、本部は國家行政機關としての省に相當する。一九三三年以來バルドウル・フオン・シラツハがドイツ國ならびにナチス黨青少年指導總監に就任し、これを助ける機關として代理人一人（ハルトマン・ラウターバツヒヤー）がある。その他に直屬する機關として數名の副官、ヒットラー・ユーゲント懲戒委員、青年宿泊所中央事務局、青少年指導者大學、女子青少年體育學校、アドルフ・ヒットラー塾堂視學官ならびに諸學校および大學問題研究員、戦死者崇敬委員、青少年圖書館ならびにランゲマルク墓地事業委員がある。

最後のランゲマルク墓地といふのは世界大戰後期に壯丁の缺乏から學校、街頭での教師の激勵の言葉に従つて、十六歳乃至十八歳の若者が勇躍志願兵としてフランス戦線に参加した。しかし戦ひ利あらずフランス・ランゲマルクの地に於て殆んど全滅の

悲運に陥つたのであるが、彼らは最後まで奮闘し弾に傷きながらもますます祖國愛に燃え、倒れて息の切れるまで「ドイツユランド」と國歌を歌つて祖國に殉じて行つた。

この白虎隊にも比すべき青年たちを記念するところの墓地であつて、特にこの委員を設けて、この若い戦死者たちの祖國愛を現在の青少年の魂の内に復活させるためのものである。なほドイツ青少年體育長官チャンマー・ウント・オステンを筆頭にする體育教育官は總監の顧問機關として訓練並に體育のことに關し協力する。次に代理者ラウターバツヒヤーは中央指導官を兼ねて實際の指導を行ひこれが協力機關として、幹部局、監察官、全國塾堂建築事業委員、各省聯絡係、在ミュンヘン黨各機關との聯絡係、父兄聯絡係、法律顧問、並に指導者學校がある。

また中央指揮官の監督下に各省の下における局に相當する十四の部門がある。これは（一）經理局（二）人事局（三）組織局（四）文化局（五）ラヂオ局（六）出版宣

傳局(七) 社會局(八) 世界觀教育局(九) 保健指導局(一〇) 體育局(一一)
訓練局(一二) 徒歩及び旅行局(一三) 女子青少年局(一四) 國境外務局の十四局
である。

一々の仕事については餘りに煩雜になるから他日に譲り、今回の日獨青少年交歡
に最も關係の深い國境外務局について若干の説明を試みる。

局長一人、代理一人の下に、1 業務執行部、2 外國聯絡部、3 在外ドイツ青少年
部、4 旅行部、5 經理部、6 婦人部、7 出版部、などの十四部にわたる事業系統の部
と、1 北歐部(イギリス、スエーデン、ノルウェーなど) 2 西歐部(フランス、ベル
ギー、スイスなど) 3 地中海部(イタリア、スペイン、ポルトガル、トルコなど) 4
東歐部(ロシア、エストニア、チェコスロバキア、ポーランド、ルーマニア、ブルガリヤ
など) 5 東亞細亞部(日本、滿洲、支那、インド、蘭領インド、オーストラリア、フ
イリッピンなど) 北米、南米など八つの國外研究ならびに聯絡を司る部分に分たれ

てそれ／＼密接な提携の下に仕事を進めてゐる。

目下日本に駐在のヒットラー・ユーゲント代表ラインホルト・シユルツエ氏は前に
この國境外務局の局長をしてゐた人であり、今回の日獨青少年交歡に際しドイツ
側の指導者として日本を訪問するユルゲンス氏は東アジア部長として受持區たる日本
の研究に當りまた交歡事務一切を行ひ、他の部からの諮問に應じまた諸種の材料を提
供してゐた人である。兩者ともに日本訪問により得たところの體驗を基にして今後の
活動を期待されてゐるものである。なほこの中央指導本部の局並にその内部の組織
と殆ど同じ組織を師團、聯隊が持つてゐるのであつて、今回日本への派遣團は、現に
各地方外國局に相當する部門に働いてゐる者か、または將來こゝに働く人をもつて
編制したとのことである。細かな組織を持つと同時に、その組織を生かすべき人にそ
れぞれ權威と能力を授けることに工夫が拂はれてゐることを知るに足ると思ふ。

これをもつて一先づ擱筆することにするが、文中に出て來る名稱を邦譯するに當り

從來日本語で紹介されてゐるものはこれを採用する方が讀者の理解に便と考へ、多く
 二荒伯爵の譯語を拜借したことをこゝに明記して謝辭としたい。(終)

筆者宮 本守雄氏は多年大阪府下の初等教育、青少年指導に盡瘁し、
 大日本少年團大阪地方聯盟理事、大阪青年隊長として青年運動の第
 一線に立ち、少年團世界大會に参加すること二回、ドイツ青少年教
 育の研究のため文部省囑託として昨年ドイツに赴き、大日本少年團
 駐獨聯絡士となり、ドイツ青年省と青少年交歓、研究などに不斷の
 努力を續けてゐる。

昭和十三年七月三十日印刷
 昭和十三年八月四日發行

ドイツ青少年運動
 非賣品

不許複製

大阪市北區中之島三丁目三番地
 株式會社 朝日新聞社
 編輯者 大道弘雄
 發行所 大阪市浪速區戸原町一八八ノ五
 日本印刷製本株式會社
 印刷者 堀越幸
 大阪市浪速區戸原町一八八ノ五
 日本印刷製本株式會社
 印刷所

發行所

大阪市北區中之島 株式會社 朝日新聞社
 三丁目三番地

大阪朝日新聞社